

高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業 助成申請書

記入例

■グループ概要

(フリガナ)	マルマルシニアミマモリタイ		
グループ名	〇〇シニアみまもり隊		
代表者	役職： 代表	氏名（フリガナ）： シガ 滋賀 花	<input checked="" type="checkbox"/> 押印をお忘れなく！
	連絡先： 〒525-0075 草津市笠	電話 09 FAX 07 Eメール	
	携帯電話等、平日の昼間に連絡のとれる番号を記載してください。		
連絡責任者	役職： 副代表	氏名（フリガナ）： フクシ タロウ 福祉 太郎	<input checked="" type="checkbox"/>
	連絡先： 〒525-0075 草津市笠	電話 080-x-x-x-x-x-x-x-x FAX 077-567-0000 Eメール ☆☆@shigasyakyo.jp	
	記載内容について、当会からの照会に回答いただける方		

■応募概要

事業名	〇〇地区高齢者ふれあい見守り活動	
活動区分 (該当するものに○印)	<input checked="" type="checkbox"/> ①高齢者の支援活動 <input type="checkbox"/> ②子ども家庭支援活動 <input type="checkbox"/> ③青年自立支援活動	<input type="checkbox"/> ④障害児者支援活動 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤地域づくり活動
事業の趣旨	<p><活動の必要性、目的、活動概要、期待する効果等を具体的に記す。当地区では高齢化が進み、このま...</p> <p>らしの高齢者が増加しています。このため、地域でこのま...</p> <p>があると考え、グループを立ち上げました。</p> <p>訪問のきっかけとして、メンバーが趣味や特技を生かして手作りの独居のお年寄りのおたくを訪問、見守りと日常生活における困ります。</p> <p>【期待する効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの趣味を生かし、独居のお年寄りの孤立・孤独を防いでふれあう機会をつくることができる。 ・高齢期にも安心して住み続けられるまちづくりができる。 	
助成金所要額	<p>100,000 円 ※千円未満は切り捨て（限度額10万円）</p> <p>必ず千円未満を切り捨てて記入してください。 (例) 「89,500円」 → 「89,000円」</p>	

記入欄が不足する場合は別添も可

■事業計画書

立ち上げ日	2017年 7月 10日 (立ち上げ済み・立ち上げ予定)
活動予定人数 (グループ・構成員)	10 名 ※ 構成員名簿を添付してください (様式自由・記載事項：①氏名 ②年齢 ③居住地域)
活動場所・拠点	<市町名・地区名・拠点名が分かるよう記入してください> △市〇〇地区□□会館
事業の対象者	<支援する対象者が具体的に分かるよう記入してください> 〇〇地区在住の一人暮らし高齢者
事業内容・実施スケジュール	<p>【内容】</p> <p>月2回 会館にメンバーが集まって△△△△△△を手作りし、独居高齢者宅へ届けて、最近の様子や困りごとなどを把握。</p> <p>月1回 分担任して対象の高齢者宅(約〇名)へ訪問し、最近の様子や困りごとなどを把握。</p> <p>月1回 報告会を開き、支援内容課題について検討する。</p> <p>活動費については、メンバーから会費として500円/人/月を徴収する。</p> <p>活動内容の周知と活動メンバー募集については、チラシや地域の掲示板を利用し随時行う。</p> <p>見守り活動をはじめると同時に、講師を迎えて勉強会を2回程度行う。</p> <p>その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>7月 立ち上げ・活動詳細打合せ・講師手配など</p> <p>8月・11月 勉強会開催</p> <p>8月～ 手作り品の製作</p> <p>9月～ 独居高齢者宅 個別訪問活動 報告会と打合せ</p>
特記事項	<p><グループや活動に関してアピールしたい点などを記入してください></p> <p>この事業では、独居高齢者の見守りと生活支援が主な目的となっていますが、支え手となるメンバーの側にも作る楽しみ・集う楽しみがあり、生きがいがづくりにつながることと思います・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>ゆくゆくは地域の子供たちと独居高齢者の交流活動なども取り入れ、高齢者を中心に世代を超えて住民がつながるまちづくりを目指しています。</p>

参加者ではなく、グループや活動の運営主体となるスタッフについて書いてください。

※添付する構成員名簿も準備しましょう。

誰が読んでも事業の内容がわかりやすいように具体的に書いてください。

箇条書き等、できるだけ簡潔に。

グループや事業について、積極的にアピールしましょう!

(様式 1-3)

助成金所要額調査書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月までの
当該事業に関するすべての収入と支出につ
いて記載してください。

記入例

(1) 収入

	金額 (円)	詳細 (内容・単価×数)
1. 本助成金所要額	100,000	
2. その他収入額	40,000	会費 500 円×10 名×8 か月分
	30,000	〇〇市助成金
活動費収入合計 (※1)	170,000	

(2) 支出

	科目	金額 (円)	詳細 (内容・単価×数)
助成対象経費	諸謝金	10,000	勉強会講師謝礼 @5,000×1名×2回=10,000円
	旅費交通費		講師旅費 @1,000×1名×2回=2,000円
	印刷製本費		チラシ作成 2000部 10,000円
	消耗品費		コピー用紙・文房具 5,000円
			材料費 56,000円
			製作道具 8,000円
	保険料	3,000	ボランティア保険料 @300×10名=3,000円
	賃借料	8,000	会館使用料 @1,000×8か月=8,000円
	備品費	60,000	ミシン @30,000×2台=60,000円
		助成対象経費合計⑦	162,000
助成対象外経費	食糧費	8,000	打合せ お茶・茶菓子
	助成対象外経費合計⑧	8,000	
	活動費支出合計 (⑦+⑧) (※2)	170,000	

対象経費の科目は、申請要項の「科目一覧表」を参照してください。
※それ以外の科目名では記入しないでください。

食糧費は助成対象外経費です。
(活動材料としての食材は除く)

活動費収入合計 (※1) と
活動費支出合計 (※2) は、
金額を一致させてください。

○「活動費収入合計 (※1)」と「活動費支出合計 (※2)」は同額であることを確認してください。